令和７年度　教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	24	学校名	大垣西高等学校

社会的役割等 (ｽｸｰﾙ・ﾐｯｼｮﾝ)		地域を愛する心と社会で活きる学力を培う高校として 多様で探究的な学びや自主的、自律的な活動を通して 地域社会を支え、地域の未来を担う人材の育成を目指す学校
学校教育目標 （教育方針）		「至誠一貫」の校訓のもと、人間尊重の基盤に立ち、知・徳・体の調和のとれた人格形成をめざし、自他に対して至誠を貫き、自主 ・自律の精神と創造性に富む資質の啓発を期する。
３つの方針 (ｽｸｰﾙ･ﾎﾟﾘｼｰ)	どんな生徒を育てたいか 【ＧＰ】	・ 知・徳・体の調和のとれた人格を形成し、心豊かな情操と道徳的実践力を持つ生徒 ・ 何事にも自主的・自律的に取り組む姿勢と創造性に富む資質を身に付けた生徒 ・ 地元地域を愛し、仲間とともに将来の地域社会へ貢献していく生徒
	生徒をどう育てるか 【ＣＰ】	・ 基礎基本を重視した学習指導や探究活動を通した学力の向上 ・ 学校行事や部活動等を通して生徒相互が切磋琢磨し、主体的に学び考える能力の育成 ・ 単位制の利点を生かして多くの選択科目を展開し、生徒一人一人が個性の伸長を図りながら自己の進路を実現
	どんな生徒を待っているか 【ＡＰ】	・ 義務教育段階の基礎的な能力を身に付け、さらに高い能力を目指し自分を向上させたい生徒 ・ 進学を志し、自分に合った選択科目を主体的に学習して自らの可能性へ挑戦する生徒 ・ 生徒会活動や部活動、地域活動などに積極的に参加し、より良い学校生活や地域社会を築いていこうとする意欲のある生徒
学校の抱える課題		・西濃地区における子どもの数が減少していく流れに対応しきれていない。 ・前向きに学習活動に取り組むことができるが、家庭学習の習慣や基礎・基本の定着が不足している生徒が見られる。 ・自己の可能性や将来への幅広い選択肢に気づけていない生徒が多い。 ・大人しくまじめな生徒達であるが、周りにはたらきかけて協働してきた経験が少なく、自ら率先して一歩を踏み出すことに躊躇してしまう。 ・自転車通学が多い中、交通安全などに対する知識や実践がやや不足している。
教育指導の重点	領域・分野	今　年　度　の　具　体　的　な　重　点　目　標
	学習指導	学びの重要性や家庭学習の必要性を認識させ、学習習慣の定着を図るとともに、自ら学びを深める生徒を育成する。
	進路指導	生徒一人一人のキャリア教育の推進及び積極的な情報提供を行い、生徒が主体的に進路を選択し進路実現ができるよう支援する。
	生徒指導	挨拶の励行や時間の厳守等の基本的なマナーやルールを身に付けるなど生活習慣を確立する。また、お互いを尊重し、安心・安全な学校生活を送ることができるよう支援する。
	特別活動	生徒会、ホームルーム、部活動において生徒一人一人が活躍できるような学校行事を工夫したり、校外のボランティア活動等への参加機会を増やしたりすることで、自己肯定感を高め、自信へと繋げる。

年　度　目　標				年　度　末　評　価（自　己　評　価）			
領域 分野	３つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A.B.C.D	成果と課題	総合 評価 A.B.C.D
学習指導	基礎・基本の確実な定着を図るとともに、補習等によりさらなる学力の向上を図る。	施策Ⅱ-8	・授業アンケートや生徒及び保護者を対象とするアンケートにおける関連項目の結果 ・考査や外部模試の結果 ・家庭学習の時間や内容 ・観点別学習状況の結果				
	自ら学ぶ意欲を高め、家庭学習などで自分に必要な学習に主体的に取り組む姿勢を培う。	施策Ⅱ-8					
	思考力・判断力・表現力を高められるよう授業改善に取り組む。	施策Ⅱ-8					
	ICT機器の活用により、学習手段や学習方法の幅を広げ、より効果的な学びとなるよう実践する。	施策Ⅱ-9					
進路指導	地元自治体や企業と連携し、探究活動を中心とした教科横断的・総合的な学びを推進する。	施策Ⅰ-4	・探究活動に関する生徒の自己評価・教員評価および探究担当教員へのアンケート ・「キャリアパスポート」の記入内容や生徒アンケートによる評価 ・進路情報提供に関するアンケートの実施及び考察				
	キャリア探究に関わる学習活動を通して、自己実現の在り方をより主体的に考える環境を与える。	施策Ⅱ-13					
	進路実現につながる各種ガイダンス・体験学習・インターンシップ等を案内したり実施したりする。	施策Ⅱ-13					
	探究活動を通して、課題解決のために必要な判断力や行動力、他者と協働する力を育成する。	施策Ⅱ-12					
生徒指導	円滑な人間関係を構築するための基本的なマナーやルールを身に付けられるよう支援する。	施策Ⅰ-1	・「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ・遅刻者数 ・命を守る訓練の実践 ・交通事故の発生件数				
	SNS等の安全・安心な利用を推進するために、情報モラルを身に付けられるよう支援する。	施策Ⅱ-9					
	独自の工夫ある取組を通じて、防災教育、交通安全教育の充実を図る。	施策Ⅲ-19					
	教育相談体制を確立し、生徒に寄り添った心のケア、早期発見、早期対応を行う。	施策Ⅰ-3					
特別活動	文化祭や球技大会等の学校行事が生徒個々の活躍の場となるよう工夫する。	施策Ⅰ-1	・「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ・参加生徒数				
	校内に留まらず校外での活動に積極的に参加することで自主的な姿勢を高める。	施策Ⅰ-4					
	身近な地域清掃活動等の機会を増やすことで、生徒のボランティア精神の向上を図る。	施策Ⅰ-7					
	部活動において、それぞれの役割を着実に果たすことにより、責任感や協調性、自己有用感を高める。	施策Ⅰ-1					

来年度に向けての改善方策等　　実施日：令和８年　月　　日

学校関係者評価　　実施日：令和８年　月　　日